

## 令和6年度 事業計画

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

ソニックシティは、大・小ホール、国際会議室などを有するホール棟、テナントオフィス、展示場、会議室、市民ホール、駐車場などを有するビル棟、そしてホテル棟の3棟からなる県内唯一の総合コンベンション施設として、昭和63年4月のオープン以降、埼玉県の実展及びイメージアップに大きく貢献してきた。今後も、埼玉県の中核地域であり東日本の玄関口である大宮駅前という立地を最大限に活かし、県内産業・文化の振興、国際交流の促進に一層重要な役割を果たしていくことが求められている。

公益財団法人埼玉県産業文化センター（以下、「財団」という。）は、ソニックシティの公共部門であるホール棟及びビル棟の公共テナントオフィス、展示場、会議室、市民ホール、駐車場等を設立当初から管理運営し、着実に成果をあげてきた。しかし、昨今は新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の直接的影響のみならず、5類移行後も社会情勢の変化により厳しい財務状況となっている。

地域の社会経済活動に貢献し、人と人をもう一度あたたかくつなぐ礎となることを目指し、以下のとおり事業活動を行っていく。

1. 当財団の経営理念「すべてはお客様のために」～責任とスピードで高品質なサービスの提供～を常に意識し、全職員が一丸となって取り組み、“優れた経営体への変革”を進め、「顧客満足度」の高いサービスを追求、徹底する
2. 埼玉県唯一の総合コンベンション施設という矜持のもとその利点を活かしたイベントの積極的な誘致とニーズに的確に対応したホスピタリティあふれる利用運営により施設稼働や収益の向上を図る
3. 地域、社会、産業、経済、国際といった多面的な「地域文化の交差点」となることを目指し、培ってきた経験とノウハウ、センスを活かした様々な創意工夫により内容を充実させた事業を積極的に実施する

## 令和6年度の事業計画指標

### 1 施設目標利用率

施設名		令和6年度目標利用率
		中期経営計画の目標利用率
ホール棟	大ホール	92.0%
	小ホール	85.0%
	国際会議室	85.0%
ビル棟	展示場	60.0%
	会議室	80.0%
	市民ホール	86.0%

\* 中期経営計画で掲げた目標利用率達成を令和6年度目標とする

### 2 公益目的事業数

事業名	令和6年度公益目的事業数
	中期経営計画の目標事業数
文化振興事業	14事業
産業振興事業	8事業
社会貢献事業	5事業
その他事業	3事業
合計	30事業

\* 中期経営計画で掲げた目標事業数達成を令和6年度目標とする

### 3 施設使用料収入目標

(単位：千円)

施設名	令和5年度 当初予算	令和5度 執行見込	令和6度 当初予算
ホール	293,021	288,270	301,752
会議室	223,976	207,584	237,108
展示場	154,005	143,320	158,527
市民ホール	38,971	36,567	38,971

## 令和6年度組織改正

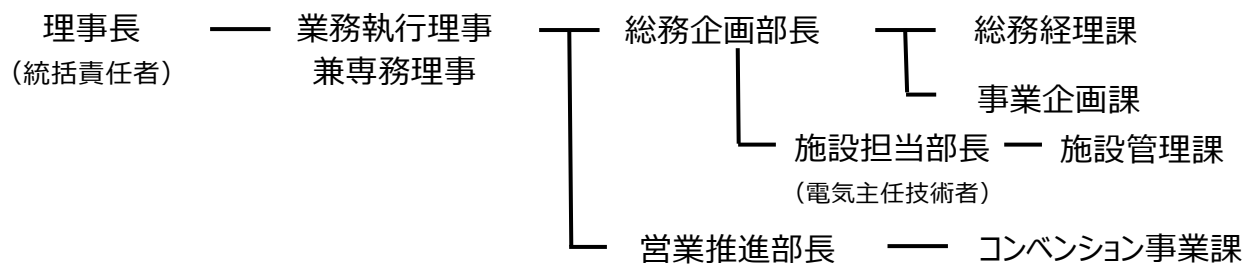
本県における産業・文化の振興をさらに図るため、コロナ禍と改修休業からの回復を確かなものとする経営の安定化を目指し、「お客様第一主義」の徹底と人材活用・組織の活性化を目的に以下のとおり組織改正を行う。

- (1) 利用・誘致推進部の二課を統合し、「営業推進部 コンベンション事業課」とする顧客視点に立った営業力強化のために施設貸出に係る組織を一本化する。  
また、これまでの施設ごとの1名担当者制を改め、課を数名ごとのユニット制とし、顧客レベルに合わせた担当制とする。

	担当施設	主な顧客
ユニット1	会議室、国際会議室、市民ホール	一般企業、市民グループ
ユニット2	小ホール、展示場	学会、大学、医療関係者
ユニット3	大ホール	プロモーター
ユニット4	全施設	コンベンション

※それぞれのユニットに職員2～4名を配置

### 組織の構成



## 令和6年度事業計画

### 1 文化振興事業

#### (1) ホールメンバーズ事業

ソニックシティホールメンバーズ会員に対するイベント情報の提供、主催・後援事業のチケット優先・割引販売等を行うとともに、新たな会員の募集に努める。また、メルマガ会員の拡充を図っていく。

メンバーズ会員目標 2,800名

#### (2) メディア連携事業

NHK、FM NACK 5 などメディアと連携し、共催により次の事業を実施する。

ア NHK 全国学校音楽コンクール・埼玉県コンクール (8/5~9)

イ NHK 全国学校音楽コンクール・関東甲信越ブロックコンクール (9/6~9)

#### (3) プライマリーコンサート事業

若年層を中心としたクラシックファン層の拡大を目的に、市内小中学校や自治体との共催により、日本フィルハーモニー交響楽団の小編成（弦楽四重奏、金管五重奏、木管五重奏など）による出張コンサートを実施する。

ア さいたま市内小中学校 15回

イ 市町村施設 1回

#### (4) 自主文化事業

県民に対する文化の振興のため、日本フィルハーモニー交響楽団による定期演奏会を中心に、芸術公演を開催する。

\*公演内容等については、別添「令和6年度 自主文化事業一覧(案)」のとおり

#### (5) ソニックシティ Dance to the Future (ダンス事業)

ダンスをソニックシティの新たな柱として置き、様々な形で事業を展開することでダンスを通し若者層へ舞台芸術への関心を高める。

ア ソニックダンスステージ

イ 社会人のダンスワークショップ (一般向け)

ウ ダンスフリースタイル

### 2 産業振興事業

埼玉県や産業支援機関、経済・商工団体等との連携により、合同企業面接会を開催し県内企業への就業を支援する等、県内産業の振興・発展を図る。また時代の変化やトレンドを捉えたeスポーツ関連事業、働き方改革等のプロジェクトをテーマにした事業を展開していく。

ア 合同企業面接会

イ 多様な働き方推進事業

ウ SAITAMA Smile Women ピッチ

エ 保育士就職フェア

オ 埼玉地酒応援団

- カ 埼玉県産業教育フェア
- キ eスポーツ振興支援事業

### 3 国際交流事業

関係団体との共催により、国際ビジネスの振興や外国人向け進学支援、日本語学習を支援する催事等を実施する。

- ア 日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス
- イ 日本語学習支援事業

### 4 社会貢献事業

#### (1) 社会貢献協力事業

健康増進や青少年教育の育成を目指す等社会貢献に資する事業を実施する。

- ア 渋沢栄一賞
- イ ピンクリボン運動普及促進事業
- ウ がんの集い
- エ 職業体験ワークショップ
- オ おもいやりコンサート
- カ ポリスコンサート

### 5 地域交流事業

さいたま市内の地域団体との共催による市民相互の交流を促進する事業を実施する。

- ア 鉄道に親しむイベント（鉄道博物館と連携）
- イ 健康増進教室（大宮アルディージャと連携）
- ウ 盆栽教室（盆栽事業者と連携）

### 6 コンベンション誘致・支援事業

県内唯一の総合コンベンション施設という利点を生かした大・中規模催事の誘致や新規顧客開拓などの積極的な営業活動を行う。また、専任スタッフによるきめ細やかな一括対応により、主催者との信頼関係を築き、優良顧客となるリピーターを増やしていく。

- ア 営業活動
  - ・ 営業訪問（都内学会運営会社、県内大学等）
  - ・ メール営業
  - ・ Zoom 活用によるオンライン商談の実施
  - ・ 施設プロモーション動画、施設案内動画による PR
- イ ニーズに応じた配信やハイブリッド開催支援
- ウ 埼玉県物産観光協会と連携した県産品 P R
- エ さいたま市観光国際協会と連携した開催支援金 P R
- オ 「M I C E 連絡協議会」参加による周辺団体との連携強化
- カ 「ソニックシティ施設見学会」の開催（年 1 回）
- キ 「首都圏コンベンション施設運営協議会」参加（年 6 回）

## 7 ホール管理事業

埼玉県から指定管理者の指定を受けて、中期経営計画（令和 6 年度～令和 10 年度）に基づき、ソニックシティホールの利用促進及び貸出業務並びに施設維持管理業務を行う。

## 8 ビル貸出管理事業

中期経営計画（令和 6 年度～令和 10 年度）に基づき、会議室・展示場・市民ホール・イベント広場といった各施設の利用促進及び貸出業務並びに施設維持管理業務を行う。

### （1）埼玉県実施直轄工事等

- ・ 8,9 階会議室照明 LED 化改修工事
- ・ 5,6,7 階会議室照明 LED 化改修工事（設計）

## 9 テナント・受託施設管理事業

### （1）テナント管理事業（公共テナント）

公益事業を行う団体に対して好条件な物件を低廉な賃料で提供することで、地域産業の拠点を形成するとともに、当該団体の経済的負担を低減させる。また、きめ細やかな施設維持管理を行うことで、テナント入居者の公益事業をサポートする。

### （2）受託施設管理事業（パスポートセンター、再交付・国外運転免許センター）

埼玉県の行政財産 2 施設について、清掃・点検等の施設維持管理業務を県から受託し実施する。

## 10 広報活動事業

### （1）SET 作成・発行事業

ソニックシティの催事案内紙「SET」を発行（年 6 回 3,000 部）し、ホールメンバーズ会員、県内各機関に発信することにより、財団が主催・後援するコンサートのチケット情報等を広く県民に提供する。

### （2）ホームページ運営事業

施設の利用案内や、主催・後援するコンサートのチケット情報、その他イベントの募集案内などを広く県民に提供する。また、SNS 等による広報活動を推進する。

## 11 付帯サービス事業

貸出施設の利用に伴う各種ニーズに対応するため、高品質のサービスが提供できる専門業者に委託し、施設利用者の利便性向上を図る。

- ア 飲食サービス（主催者の依頼に基づく弁当等の手配、自販機の運営）
- イ 舞台サービス（催事のプランニング、機材・看板・オペレーターの手配）
- ウ イベントサービス（機材の手配、会場設営の請負）
- エ 託児サービス（館内託児室の無料提供、シッターの紹介）

## 12 駐車場管理事業

ソニックシティ公共施設及びオフィス利用者向けのホール棟地下駐車場並びにテナント入居者を中心とした第2パーキングの管理・運営を行う。また、ビル管理会社とともに近隣の法人需要掘り起こしを並行して行い、駐車場施設の稼働率維持に努める。

### (1) 埼玉県実施直轄工事等

- ・第2パーキング塔屋及び外壁塗装工事（設計）

## 13 旅行業事業

### (1) 近隣ホテルへの宿泊手配取次

大規模催事等では県外からの宿泊を伴う施設利用者が多いため、近隣ホテルと連携し宿泊手配取次を行うことで施設利用者の利便向上に繋げる。

### (2) 埼玉県物産観光協会等と連携したツアーPR

県内観光振興を図るため、埼玉県物産観光協会等と連携しツアーPRを行う。

## 令和6年度重点取組項目

感染症による直接的な影響のほか、オンライン会議の急速な浸透により一番の収益源である施設利用収益が下がり、経常利益は4期連続マイナスを見込んでいる。さらに光熱費高騰に伴う物価上昇や大宮駅周辺の路線価上昇に伴う賃借料増などマイナス材料も重なり、一時的に県から指定管理料を受けての運営を余儀なくされたが、従前のように指定管理料を受けずに継続的な運営ができるよう収益増加、費用削減に取り組んでいくことで、前年度決算（第3四半期時点見込）より経常利益を2,879千円改善させる。

また、大野県知事のもとDX推進している県を見習い、令和4年6月にDXプロジェクトチームを発足させ、DX推進を積極的に行ってきた。引き続き「ペーパーレスの推進」「働き方改革の推進」「顧客サービスの向上」の3つの視点から業務改善を行っていく。

以上を踏まえ、「経常利益を増加させる取組」「生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する取組」を重点取組項目として掲げ、次頁以降に具体的な数値目標を設定した上で、今まで以上に積極的に取り組んでいく。

	R5年度(見込)	R6年度(計画)
経常収益	1,285,459千円	1,328,023千円
財団収益	1,265,459千円	1,328,023千円
指定管理料	20,000千円	0千円
経常費用	1,302,453千円	1,342,138千円
経常利益	△16,994千円	△14,115千円



## 1 経常利益を増加させる取組

(1) ホール棟施設（大・小ホール・国際会議室）の損益改善

- ①大ホールの収益向上…コンサート主催者（新規プロモーターの開拓／年間2件予約）
- ②小ホールの収益向上…文化系催事への営業強化（県内ダンス教室への営業／年間2件予約）
- ③国際会議室の収益向上…市内企業へのDM・ポスティング強化（大宮駅東口周辺：100企業以上へ営業／年間2件）

	R6 年度(計画)
収益	301,752 千円
費用	322,842 千円
利益	△21,090 千円

(2) ビル棟施設（展示場・会議室・市民ホール）の損益改善

- ①ビル棟施設全体の収益向上…市内企業へのDM・ポスティング強化（大宮駅東口：100企業以上へ営業）
- ②会議室の収益向上及び費用削減…インターネット利用登録者の拡充による予約率の向上（新規登録30件×12ヶ月＝360件）

	R6 年度(計画)
収益	434,894 千円
費用	221,259 千円
利益	213,635 千円

(3) 文化振興事業の損益改善

- ①チケット販売数向上：定期／県教職員／学校などの各種斡旋販売強化
- ②新規顧客獲得：チラシ配布やポスティング強化
- ③損益改善公演実施：コラボレーション事業実施により損益改善に直接貢献する。

	R6 年度(計画)
収益	76,393 千円
費用	96,029 千円
利益	△19,636 千円

## 2 生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する取組

### (1) ペーパーレスの推進

「DocuWorks 導入による電子決裁」及び「クラウドサイン導入による電子契約」をこれまで以上に積極活用することによりペーパーレスを推進する。また、紙資料で保管しているスペースを削減し、より効率的な業務ができるスペースを創出する。

	R6 年度(計画)
年間紙削減枚数	R5 年度比 ▲10,000 枚
累計書類保管棚削減数	R5 年度比 ▲4 台

### (2) 働き方改革の推進

「リモートビュー導入によるテレワーク」「スライド勤務制度」を積極活用し、ライフスタイルに合わせた働き方の選択による職員のモチベーションアップを図るとともに、業務負荷の分散と繁閑に合わせた勤務体制等により時間外縮減に繋げる。

\*なお、時間外の範囲は時間外手当対象外の管理職も含む。

	R6 年度(計画)
年間削減時間外勤務	R5 年度比 ▲30 時間

### (3) 顧客サービスの向上

既に導入している会議室の「インターネット予約」を推進し、顧客サービス向上に繋げる。「インターネット予約」はスマートフォンや PC からいつでもどこでも24時間予約ができ、予約履歴もマイページから確認可能、といった利便性があるため、積極的に HP 等での PR をおこなう。また、利用者登録を簡素化（従来は紙申込書で登録に3週間程の時間が必要だったが、新たに WEB 登録フォームを設け、登録時間も1週間以内に短縮）し、利用者増によるインターネット予約率の向上に繋げる。

	R6 年度(計画)
インターネット予約率	80%以上